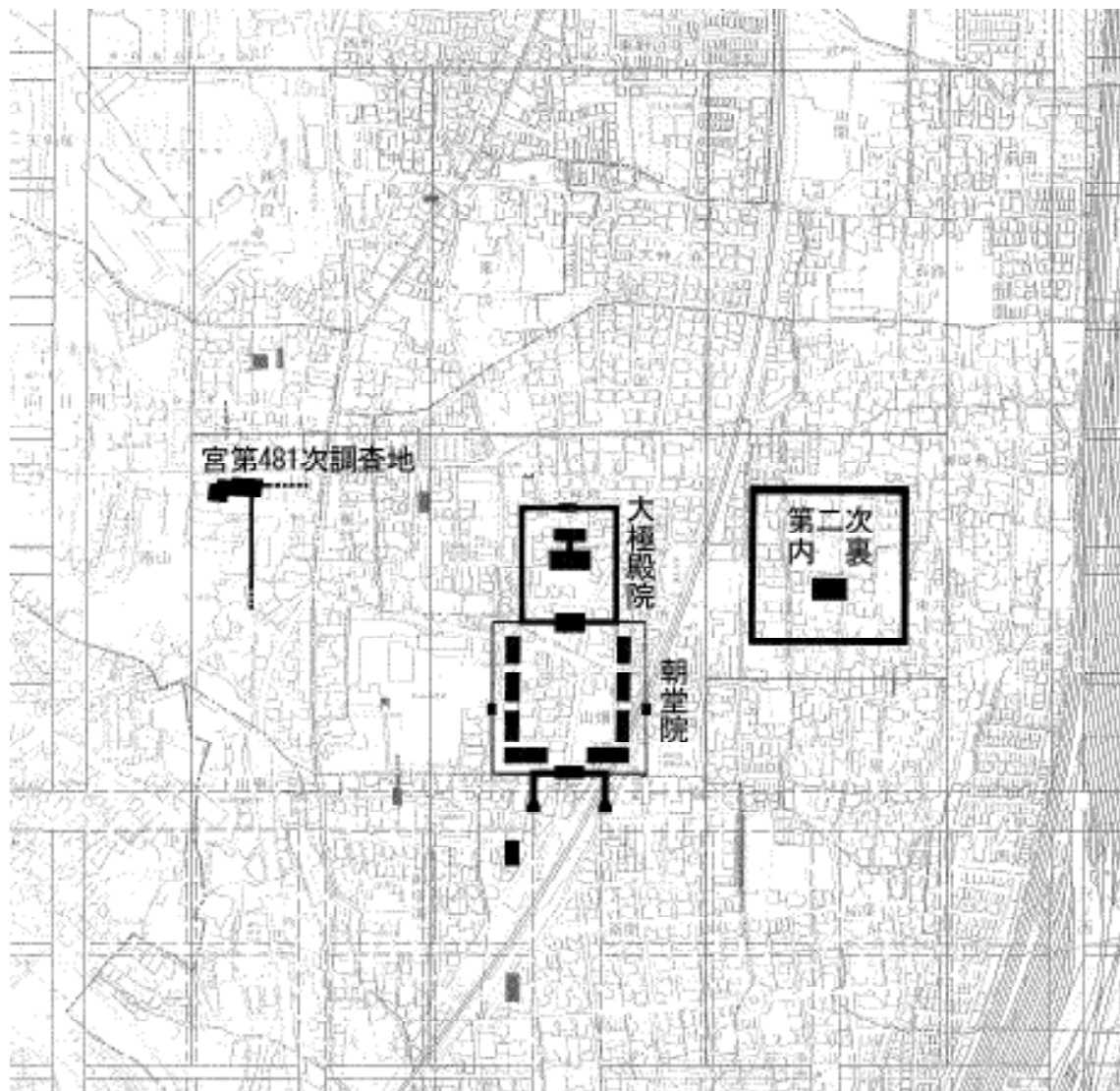


# 長岡宮跡第481次（7ANCMM-6地区）調査

## 現地説明会資料

平成22年12月19日（日）

調査地	向日市向日町南山3番地 向陽小学校内
調査契機	学校改築
推定地	朝堂院西方官衙、南山遺跡
調査期間	平成22(2010)年10月4日～12月28日（予定）
調査主体	財団法人向日市埋蔵文化財センター
調査面積	780m <sup>2</sup>



第1図 調査地位置図

## 1 調査の概要

本調査地は、大極殿の西約250m、標高38m前後の段丘・中位面に位置します。長岡宮の官衙復原では、朝堂院西方官衙域の北西部に当たります。また、縄文時代の集落跡、南山遺跡にも含まれます。周辺では過去に4回の発掘調査が実施されています。南約30mの宮第65次・84次調査(1976・78年)では南北方向の回廊と石組み遺構が、北東に接した宮第178次調査(1986年)では平安時代初頭に廃棄される井戸S E 17805と石組み溝S D 17806、西側の体育館建設時の宮第193次調査(1987年)では長岡京期の南北溝などが確認されています。また、南西160mの宮第320次調査(1995年)では長岡京期の掘立柱建物が確認されています。こうした状況から、向陽小学校内には回廊で囲まれた施設があると推定されていました。

今回の調査では、北校舎建設位置東側を中心にトレンチを設定しました。その結果、宮第65・84次調査で確認された回廊の北延長部分を発見し、その回廊が東に折れ曲がることが判明しました。その結果、宮第178次調査で検出されていた石組み溝は回廊の北雨落ち溝、井戸は回廊の柱掘り方であることが判明しました。

## 2 発見した遺構

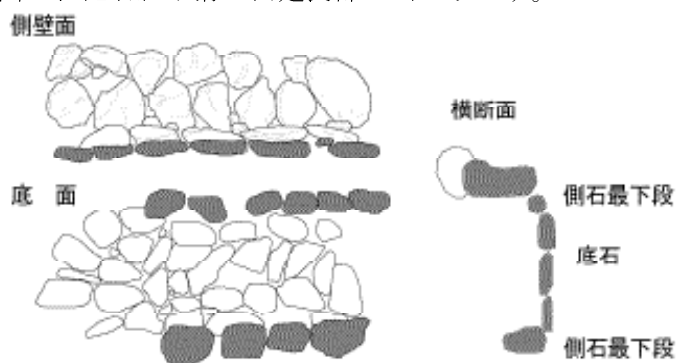
長岡京期の柱掘り方(21基)と石組み溝4条があります。位置関係から、これらは回廊の北西隅を構成する遺構と考えられます。

〔回廊北雨落ち溝〕 東西方向の石組み溝です。発見された雨落ち溝の中では最も遺存状態が良好です。溝幅は0.5~0.55m、深さは検出面から溝底石上面まで約0.4m前後あります。長さ13.5m分を確認しました。石組みの構造は、底面に平らな礫を敷並べ、側壁は溝と並行に長軸をそろえた長い礫を置き、その背後に、長軸方向で立てた礫を並べ、その上面の間を埋めるように礫を置いていく3段構造です(第2図)。側壁の裏側には裏込め石を積めた様子はいかがえませんが、3段とも残っている部分は北壁の一部に限られます。南で検出した西雨落ち溝に繋がるコーナー部分を確認しました。

なお、この溝は宮第178次調査で検出された石組み溝の西延長部に当たります。

〔回廊西雨落ち溝〕 南北方向の石組み溝です。東側石と西側石の上位を失っているため、詳細は不明です。回廊北雨落ち溝と同規模と推定できます。断続的に長さ10m分を確認しました。

〔回廊南雨落ち溝〕 東西方向の石組み溝です。底石と側石の最下部



第2図 石組み模式図

が残っていました。溝幅は0.4m前後、残存部の深さ0.15m前後です。長さ2.0m分を確認しました。西端で南に折れ曲がる回廊東雨落ち溝に接続しています。そのコーナー部分は石が抜き取られた状況を伺うことができます。

【回廊東雨落ち溝】 南北方向の石組み溝です。底石と側石と最下部が残っていました。溝幅0.4m前後、残存部の深さ0.2m前後です。長さ1.5m分を確認しました。

【回廊】 調査地東側で検出した掘立柱の回廊です。宮第65・84次調査で確認された回廊の北延長上に位置し、調査地内で東に折れ曲がります。総数21基の柱掘り方を発見しました。3列の柱列で構成される複廊と呼ばれる回廊です。西面回廊・北面回廊とも柱間は梁間2.4m（8尺）、桁行3.0m（10尺）です。コーナー部分のみ梁間・桁行とも2.4m（8尺）です。柱掘り方は一辺1.2～1.6m前後、深さは1.4～1.6m前後です。南北及び東西の雨落ち溝間の距離から推定される回廊の幅は8.6mです。

### 3 出土遺物

出土した長岡京期の遺物には、難波宮式鬼板、難波宮式軒丸瓦、難波宮式軒平瓦、平・丸瓦片の瓦類の他に土師器の杯・皿・椀、高杯の供膳具や須恵器の杯などがあります。

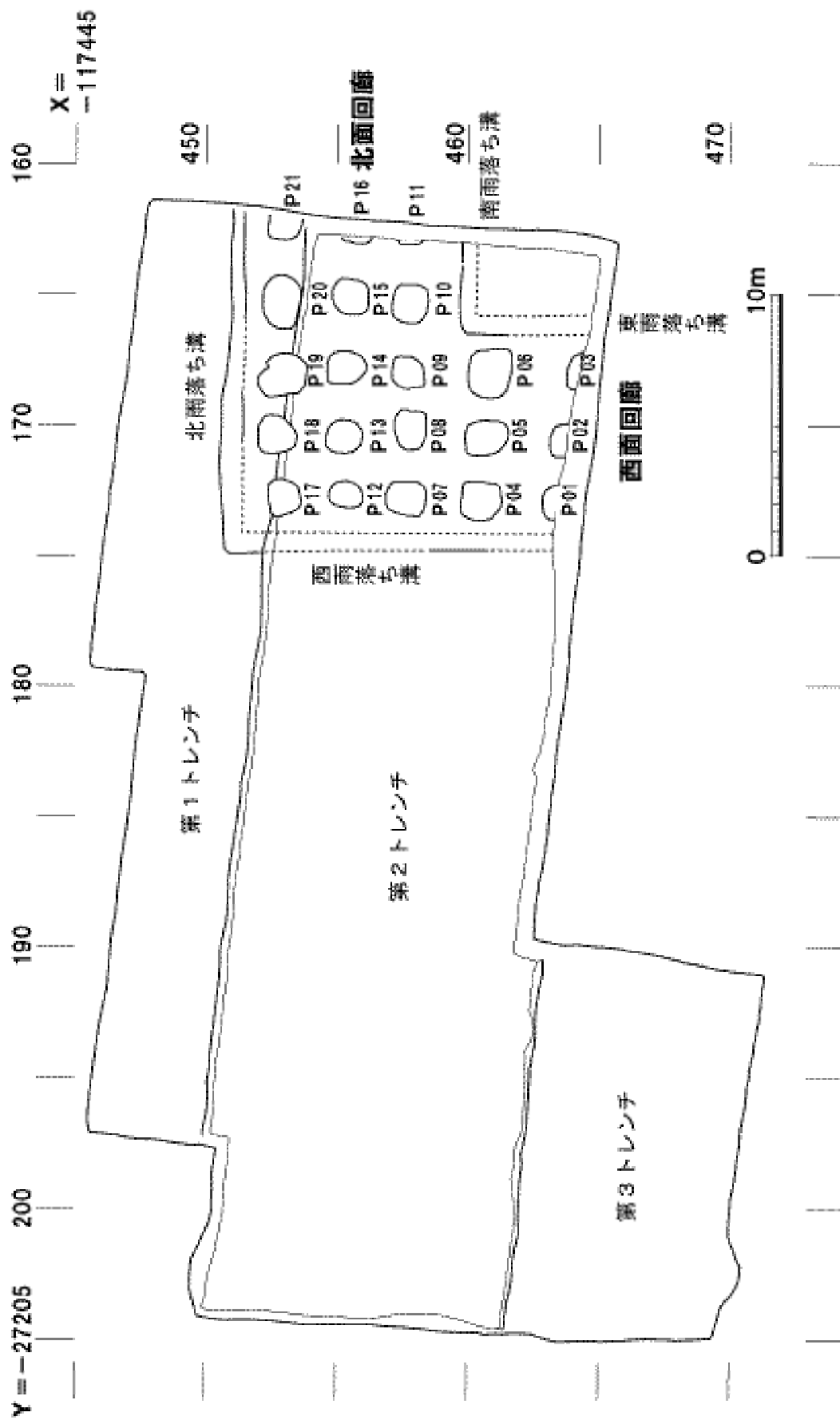
### 4 まとめ

今回の成果をまとめると以下の通りです。

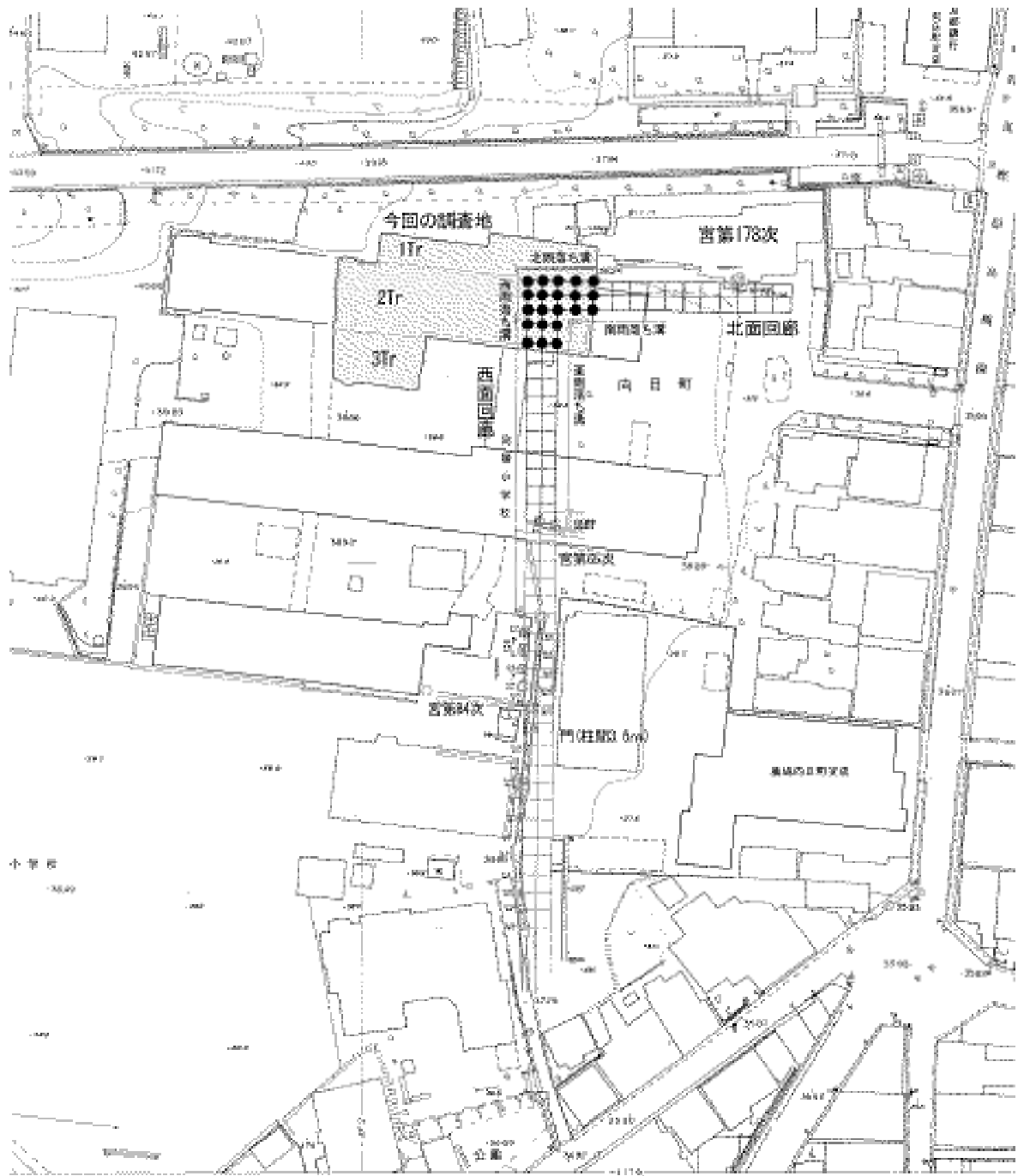
発見した回廊は方形に復原される施設の北西隅と推定されます。全体の規模は不明です。仮に、宮第65次調査で確認された西面回廊の門から南北の規模を推定すると南北回廊心々間距離は145.2mとなります。大極殿を挟んで東側のほぼ同じ位置にある第二次内裏の心々間距離159.08mに匹敵する規模です。このような規模の複廊で囲まれた施設の存在が、大極殿の西で明らかになったことは、長岡宮の構造を考える上で極めて重要な成果です。

回廊の位置関係をみると、第二次内裏の中軸線とは一致せず、むしろ大極殿の中軸とほぼ同じで、遷都当初に造営された大極殿との関係を想起させます。性格は確定できませんが、掘立柱形式の複廊は、平城宮内裏内郭、後期難波宮の内裏に用いられた建築様式です。後期難波宮の内裏とは、柱間の規模が一致することから、大極殿・朝堂院同様に後期難波宮から移建された内裏相当施設であった可能性が指摘できます。

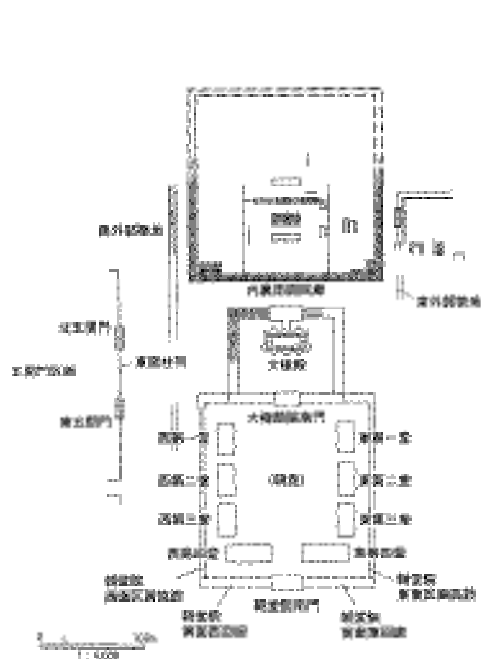
長岡京（784～794年）の内裏は、延暦3（784）年11月11日の遷都当初から延暦8（789）年2月までであった第一次内裏から延暦12年（789）年正月に東院に遷るまでの第二次内裏へ変遷したと考えられています。第二次内裏は大極殿の東方にあったことが発掘調査で明らかになっていますが、第一次内裏の所在地は明らかではありませんでした。今回発見した複廊によって画される施設は、第一次内裏に関係する区画である可能性が高いと思われます。しかし、現段階ではその性格を確定する十分な情報はありません。



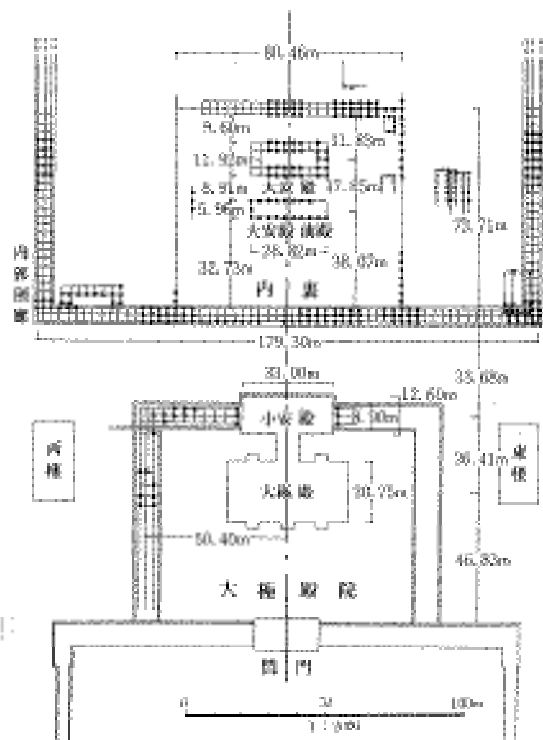
第3図 宮第481次調査地長岡京期遺構配置図



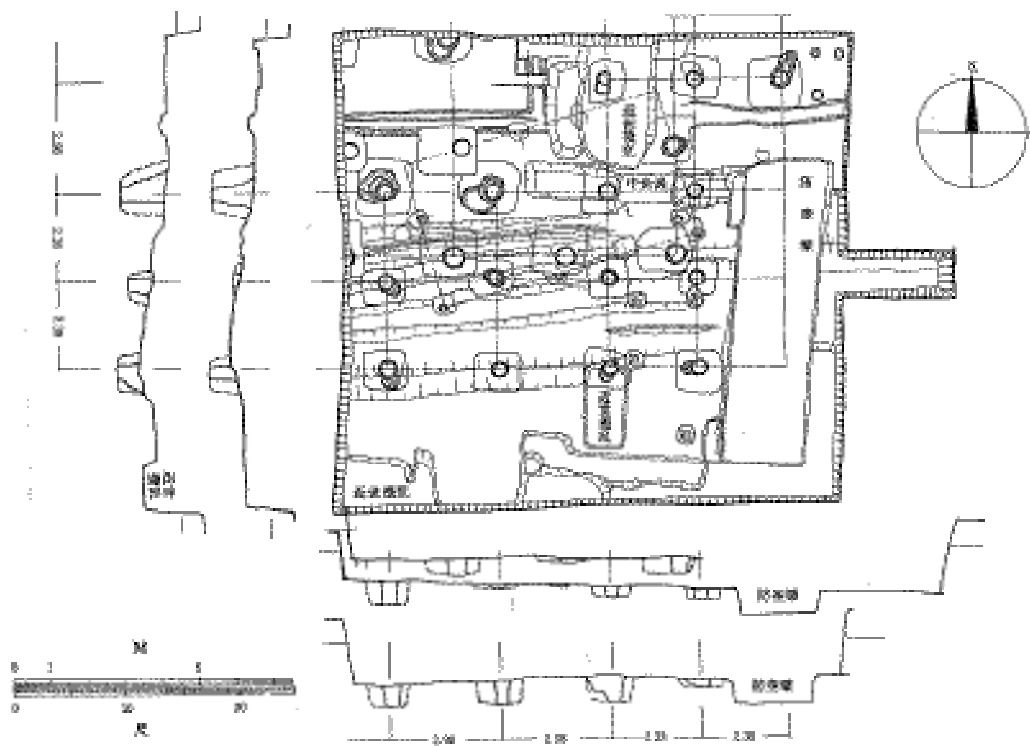
第4図 調査地周辺遺構配置図



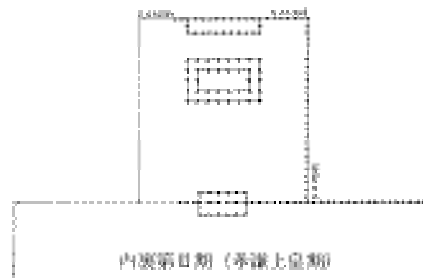
第5図 後期難波宮中核部の配置



第6図 後期難波宮内裏の構造



第7図 後期難波宮内裏の内部回廊南東角



第8図 平城宮内裏の殿舎配置



第9図 平安宮内裏の配置

表一 1 文献史料にみる長岡宮内(だい)内裏(り)裏(り)関連施設

続紀：『続日本紀』 紀略：『日本紀略』 類聚：『類聚国史』

	西 曆	延 曆	月 日	殿 舎	備 考	出 典
1	785	4	1. 1	内裏	節日の饗宴をした。	続紀
2			3. 3	嶋院 <small>しまのいん</small>	節日の饗宴(曲水宴)をした。	続紀・紀略・類聚
3			5.19	皇后宮・(庁上)・(庭中) <small>こうごうぐう</small>	詔 <small>みことり</small> があり、赤雀 <small>せきじやく</small> 4月晦日 <small>みそか</small> より皇后宮にあらわる。	続紀・紀略
4			6.10	皇后宮・(椒庭)・皇宮	勅があり、赤雀 <small>すい</small> の瑞 <small>すい</small> に関する叙位 <small>じょい</small> 等をおこなう。	続紀・紀略・類聚
5			9.28	内裏・東宮	23日種継 <small>たねつぐ</small> 事件・皇太子内裏より東宮 <small>とうぐう</small> に帰る	紀略
6	787	6	3. 3	内裏	節日の饗宴(曲水宴)をした。	続紀・紀略・類聚
7	788	7	1.15	前殿・中宮 <small>ちゆうぐう</small>	皇太子元服儀	続紀
8			4.16	(庭)	天皇沐浴して庭に出、雨を祈る	続紀・紀略
9			12. 7	(殿上)	征東大將軍 <small>せいとうだいしゆん</small> 紀古佐美 <small>きのこさみ</small> に節刀 <small>せつとう</small> を賜う	続紀・紀略
10	789	8	1. 6	南院	節日(本来・正月七日)の饗宴をした。	続紀・紀略・類聚
11			2.27	西宮・東宮 <small>にしみや ひがしみや</small>	天皇は西宮より移って、初めて東宮に御した	続紀・紀略
12			12.29	正殿・西廂	28日新笠崩 <small>にいがさ</small> ・天皇が正殿を避 <small>さ</small> げ西廂 <small>せいそう</small> に御し <small>ご</small> 挙哀 <small>あ</small> した	続紀・紀略・類聚
13	790	9	閏 3.11	近衛府	10日乙牟漏崩 <small>おとむろ</small> ・天皇は近衛府に移御した。	続紀・紀略
14			6.13	神祇官曹司・内裏	諒闇のため、内裏を避け神祇官曹司 <small>じんぎくわんせうじ</small> で神今食 <small>じんいまけ</small> を行う	続紀・紀略・類聚
15			10.14	内裏	102歳の高年の人を引見した。	続紀・紀略
16	792	11	1. 2	前殿	節日(本来は元旦)の饗宴(侍臣を宴す)	類聚
17			1. 7	南院	節日の饗宴をした。	紀略・類聚
18			1. 9	(諸院)・猪隈院 <small>じゆかい</small>	射礼(諸院を巡覧し猪隈院で令射)	紀略・類聚
19			1.17	南院	節日に射礼 <small>しやうらい</small> をした。	紀略・類聚
20			3. 3	南園	節日の饗宴をした。	紀略・類聚
21			閏11. 7	(諸院)・(宮)	諸院を巡幸し、還宮した。	紀略・類聚
22	793	12	1. 1	前殿	節日饗宴(侍臣を宴す)	類聚
23			1.21	東院・(宮)	宮を壊すため、東院に遷御	紀略・類聚
24			3. 3	南園	節日に饗宴(賦詩)をした。	紀略・類聚
25			7. 7	馬埦殿 <small>うまらち</small>	節日(相撲を観る)	紀略・類聚
26			8.21	南園	大原野に遊獵、還って南園に御た。	紀略・類聚
27			8.26	(宮)	京中を巡覧、日暮還宮	類聚
28	794	13	1. 1	(宮殿)	宮殿を壊すにより廃朝	類聚
29			1.17	東埦殿 <small>ひがしらち</small>	節日に射礼をした。	類聚
30			3. 3	南園	節日の饗宴(賦詩)をした。	紀略・類聚
31			5.28	木蓮子院 <small>いたび</small>	皇太子妃頓逝	紀略